

能登教区通信

このたび、標記通信2018年6月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

教区教化事業のご案内

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・ 日 時 2018年6月16日(土) 午後2時～4時
- ・ 講 師 今泉温資 氏(三条教区 往生人舎)
- ・ 講 題 「仏教は聞いてきた人の歴史ー如是我聞ー」
- ・ 参加費 500円

教化事業・その他行事のご報告

◆伝道掲示板ワークショップ◆ 広報部門

さる5月9日(水)、広報部門主催で伝道掲示板ワークショップ「みんなで作る 伝道掲示板」が開催され、14名の参加があった。講師は、企画調整局参事である第14組浄願寺住職の竹原了珠氏。

講師はまず、自坊でご門徒との共同作業で伝道掲示板の法語選びをされている取り組みについてプロジェクターを使って説明された。住職継職の際にお寺へ続くルートに2カ所の掲示板を設置、掲示する法語は住職が一人で選ぶのではなく、ご門徒が法語集から選ぶかたちでの参加型、さらに法語を選んだご門徒の名前入りで掲示し、選んだ方の人柄も感じられるようにしていることなど、伝道掲示板を通して、ご門徒との聞法のご縁を深めておられる内容は、どのお寺でも実践可能な具体的な内容で、参加者は興味深く聞き入った。

後半では、伝道掲示板づくりの取り組みを実践した。参加者は3班に分かれ、配布された法語集掲載の100の法語を時間をかけて味わってから、その中からそれぞれ思い思いの法語の一つを選んだ。



続いて、なぜその言葉を選んだのかを共有し、味わいを深めた。最後に、左手を使ってわざと下手な字にすることで味わい深くなると指導を受けつつ、模造紙に法語を書き込む作業をした。

今回の研修会で学んだ内容は、それぞれのお寺の現場でご門徒と共にそのまま実践できるという点でスタッフとしてもやりがいがあった。広報部門では今後も「お寺の現場に反映できる教区教化事業を」という方向性を大事にしていきたい。

〈広報部長 畠山 浄 記〉



◆真宗史講座◆ 研修部門

木越祐馨師(第五組光琳寺住職)による真宗史講座が2回(4月17日(火)・5月8日(火))開かれました。

第1回「近世寺院の成立と講」では、法広寺文書から、近世の寺院が、寺院の形を整えていく過程を学びました。文書は、寺院が寺号を名乗り、木像本尊などを使用するには本願寺の許可が必要であったこと、またそのために有力者の口添えがあったこと、さらに金銭もかかわっていたことを伝えています。

こうして、末寺は本願寺と包括関係を結び、さらに寺社奉行の管轄下に入り、幕藩体制の中に組み込まれて成立しました。

第2回「本山再建と門徒」では、志賀町の豪農(真言宗の檀徒)が加賀藩に上訴した文書を読みました。天明八年京都大火による本願寺焼失で、再建事業が始まります。本願寺門徒は、「講」を結び、懇志を集め、寺院、門徒にも金銭を割当して本願寺へ上納し、さらに多くの職人や人足が上京して再建にたずさわりました。文書は、こうした本願寺門徒の再建に向けた対応は加賀藩の財政の損失になるので何らかの規制が必要であると訴えています。このことから、当時の他門の人たちは、本願寺門徒の対応を行き過ぎと見て、批判的に見ていたことが分かります。本願寺焼失は、不幸な出来事でしたが、それだけでは終わりませんでした。各地で結ばれた「講」に、ご消息が下附されることで「講」が活発化し、祠堂経などの仏事には参詣が増え、夜も営まれました。この勢いは、結果として、一般社会にも好ましい影響を与えます。人が動き、物が流通することで、経済が活性化し、生産も盛んになりました。

以上の二講座をとおして、近世から近代への発展には、宗教活動が深くかかわっていたことを学びました。

〈第3山方組 極應寺 元藤 了賢 記〉



本山・教区事務についてのご連絡

◇総代・責任役員選定届の提出について◇

6月末が年度末の寺院・教会の皆さま、届出準備はお済みですか？

責任役員・総代の選定は、法人運営に必要不可欠なものであり、宗教法人法や宗門法規において定められています。任期切れ並びに任期終了間近の御寺院につきましては、同封しております届出用紙3枚全てに記入・押印いただき、教務所まで届け出ください。

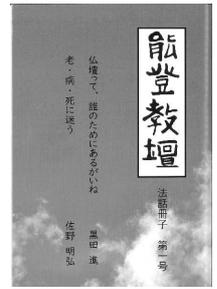
提出に際し、ご質問等ございましたら教務所までご連絡ください。

※届出用紙は、宗派公式ホームページからダウンロードの上、A3サイズでプリントいただくか、教務所までご連絡いただきましたらお送りいたします。

※届出用紙に記入いただくにあたり、用紙右下枠外に「記入にあたっての注意事項」が記載されています。お読みいただき、記入くださいますようお願いいたします。

◇能登教壇法話冊子第一号について◇

先月号にて送付いたしました『能登教壇』法話冊子第一号について、組門徒会員分を追加贈呈いたしますので、本人にお渡しください。なお、教区門徒会員の方には既に直接送付しております。引き続き積極的なご活用及び頒布奨励にご協力をお願いします。 (1冊50円)



◇教務所事務休暇について◇

下記期日を事務休暇とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

2018年6月22日(金) 教区同朋大会振休のため

【緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611】

◇本山経常費完納寺院◇(2018.4.1~4.30迄)

2017年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第2組	明照寺	穴水組	清琳寺
第3山方組	徳満寺	第13組	福勝寺
第7組	長徳寺		

◇代務者就任◇(教区通信5月号 掲載以降)

第1組	慈雲寺	三条教区第18組等運寺衆徒	塚本祐紀恵	2018年4月20日
第14組	正覚寺	第14組正覚寺衆徒	福田正充	2018年5月17日

◇敬弔◇(教区通信5月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第8組	慶願寺	前坊守	日向忠子	2018年5月10日
第2組	光福寺	坊守	岡部聰	2018年5月16日

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ ほとけさまに遇いにきたいのち、今ともに生きよう
能登教区教化スローガン 一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を

能登教区ホームページアドレス (2018年4月よりリニューアルされました)

新URL : <http://ohigashi-noto.jp/>